

加身春 なごち年賀状

。時の流れは次第にすみやかに、語りびとの歩みは少しづつゆっくりと感じられます。新たな年、どうぞよろしくお願い申し上げます。

朝重

。あけましておめでとございます。やっと一年が経過致しました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

綾之助

。おめでとございます。年のはじめに思うこと。二一世紀中にはお嫁にゆきたいです。

喜寿

。自分の頭の中にある理想の音が早く出せるよう今年も努力して参ります。よろしくお願い致します。

寛也

。健康第一。好奇心旺盛に参りましょう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

喜恵博

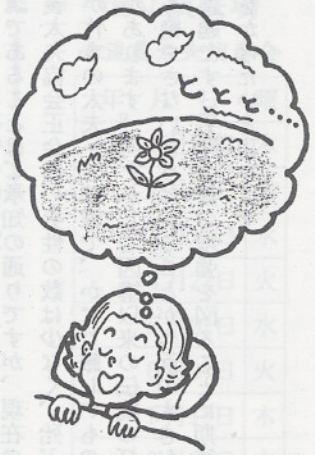
。ご無沙汰いたしております。元気にしております。又、皆様にお目にかかりたく存じます。

源平

。今年こそ世界中に愛が満ちみちます様に。

幸治

。昨年はずべての目標達成ノ今年は……



。ミュンヘン&バイロイト行きたいノ(多分無理……)

越京

。あけましておめでとございます。昨年春ころからムクムクと肥えはじめ健康優良にますますみがきをかけてます。芸にも一層みがきをかけねばと思いますが、思うようにはいかないものです。ダイエットに挑戦。

越孝

。秋に目の手術をして(簡単なものですが)とても明るく見えるようになりました。ブルーベリーはよいですから皆さんもぜひ召し上がれ

越道

。今年、人をそしらずそねまず、素朴に清らかに生きたいノ(ムリか?)

越若

。本年は妹弟子が一月の演芸場で初舞台を踏ませていただきます。駒登久師匠の師匠「駒清」の御名をいただきました。私共々末永くお引立てくださいますようお願い申し上げます。

駒治

。初舞台から干支をひとまわりしました。多謝。色々な道を歩いている人を見つつ、ま

たあらたに歩き始めます。 駒輝

。健康に気をつけ、常に「初心忘るべからず」を、心に留めて日々勤めて参りたいと存じます。 駒之助

。昨年はとにかく、三曲をたくさん聴きました。今年はお能をたくさん観に行きたく思っています。 三寿々

。明けましておめでとございます。今年も目標は健康であること。心身共に健やかにがんばりたいと思います。 津賀榮

。昨年は師匠駒之助が手術という大きな心配ごとがありましたがおかげ様で克服。皆様も健康第一でノ 津賀寿

。今年から息子は幼稚園。私も心機一転、がんばりますノどうぞよろしくお願いいたします。 津賀花

。今年も「健康第一」でがんばります。

。新年おめでとございます。年月のサイクルがますます早くなってきました。足元を見つめ、先を見つめて走り出さないと……。本年もよろしくお願い申し上げます。

土佐恵

。明けましてお芽出とございます。今年、又、心新たに屠蘇の膳。昨年の古典芸能に出演。心一つにしたあの爽やかさ。今年もよろしく。

友路

。元気ですがほとんど外出しないので、ぼけないよう何でもメモしています。ところが

友路



どこに何を書いたかノの毎日です。素八
 。一喜一憂。昨年も会員、受講生の皆さんに
 励まされなんとか乗り切った。か？ 今年
 は「喜」の方が多くなりませうように。
 素丸
 。「音に心をノ心に愛をノ」今年も笑顔で毎
 日を努められる様頑張ります。よろしく御
 願いたします。
 紋榮
 。一日一日を大切にすごしてゆきたいと思ひ
 ます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
 弥栄
 。迎春 今年も努力を続ける以外にありません。
 さん。どうぞよろしくおねがいたします。
 弥吉
 。まわりの、すべての方々に感謝しつつ、一
 歩一歩精進してまいりますと思ひます。
 佳之助
 。今年の目標。きれいなお庭作り…？
 柴田良子

正会員
 TOPICS

「相撲甚句と義太夫の夕べ」
 開催される



上野広小路亭「ぎだゆう座」の三周年記念
 行事として、八月一日・二日に「相撲甚句と
 義太夫の夕べ」が開催されました。
 永谷社長は半世紀に及ぶ相撲びいき。その
 ご縁で、呼び出し三郎氏を招いてのタイアッ

ブ公演が実現。おかげさまで二日間とも超満
 員の大入りとなりました。

六年前に若手技芸士の道場として会場をご
 提供頂き、奇数月二日間(じよぎ)の公演、
 その後偶数月(ぎだゆう座)も増やし、毎月
 一日二日には女流義太夫若手中堅の定期公演
 ができるようになりました。

この三月「じよぎ」は第三十回記念公演を
 催します。

この度、永谷浩司社長に初めてお話を伺い
 ました。

女流義太夫の実演家が思ったより少ないの
 に驚かれた様子でしたが、
 「少ない人数だけど、一人一人の肩にかかる
 力と責任を各自が充分自覚して懸命にがんばっ
 ているのだからうれしいことです。女流義太
 夫の将来はとて大きい。私もバックアップ
 させていただくのによぶさかではない。」

芸術協会(落語)の定席(一〜十日)に今
 年は文化庁芸術団体人材育成事業の助成が出
 た。あなた方も文化国家の一員として尽くし
 ているのだから、少しでも早く国や団体に認
 めてもらえるようがんばってください。

永谷の定席は私に何かあっても、まあ当分
 大丈夫だろうけど(笑)、あとは大矢と広谷
 (永谷商事の若手社員さん)がひきついでく
 れるよう仕込んであります。

といってもこちらも慈善事業ではないのだ
 から、修行の成果と興行が成り立つようしつ

かりやらなくてはだめですよ。

自分たちは二日間が満足なんて思っていないで、成果次第で今の二日間から一週間でも十日でも興行が成り立つよう気概をもってやって欲しい。」

と、懐の大きさと実業家としてのシビアな面を見せてくださいました。

また永谷社長は「たまり会」の会員で、数少ない木戸御免を許されるほどの相撲通。東京場所の時は、TVの画面でも砂被り(たまり)の席によくお顔をお見かけします。

話が相撲のことに触れますと、思わず身を乗り出され、

「長い間、幕内・十両と色々な力士が育ってくるのを見てきたが、伝統芸能も若い世代が育つを見たいし、その存在もここを通して広げてくれればうれしい。

相撲も芸も共通してるよ。

序二段や三段目の力士でも強くなる者は、仲間の相撲をよく見ている。相手の事をよく知ると同時に、それは自分の弱点もよく知ってどんな相手にも勝つ為の手段を色々考えることができる。そして相撲内容が実に緊迫感のある厳しいものになって、客も楽しめる。まあ、芸も相撲も同じだね。プロはハングリー精神が必要だと言ふ事。」

今後とも、広小路亭を有意義な会にするよう日頃から研鑽を積み重ねがんばっていきたいものです。



永谷浩司氏

永谷商事株式会社社長

住宅・店舗の販売・賃貸・管理をする六社の社長。終戦の年、上野のガード下で一個十銭の荷物一時預かり業を始めたのが十七歳。石鹸製造販売、飲食店などを経て、一代で築き上げた。ビル百四十棟、約九千戸の「家主」である。

栃木県立足利南高校

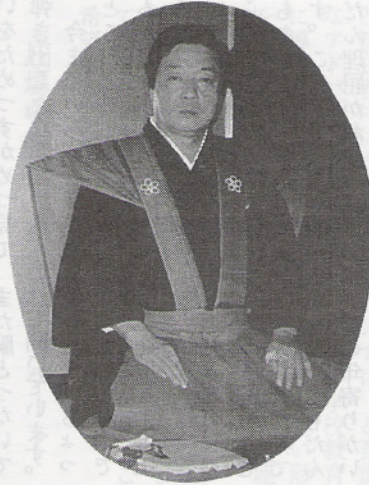
歌舞伎授業始まる

全国初、市民も参加して、平成十四年度「演劇コース」(歌舞伎講座)が四月よりスタートしました。毎週水曜日の午後五・六時限を使って、実践主体に学ぶこととなります。一学期は、日本舞踊の基本編として着物の着方、たみ方、正座の仕方、おじぎ、扇や手拭の使い方、女形の所作、男の所作、長唄「松の緑」「潮来出島」などを勉強しようです。又、中間発表として、夏休みの一日、足利市民会館で「おさらい会」を開いて、市民と一緒にその成果を披露できました。年度末には、卒業公演として「絵本太功記十段目、尼ヶ崎の段」を上演することとなっています。

夏休み明けの九月から、いよいよ「太十」の実習が始まりました。義太夫の講習です。皆、きちんと浴衣を着て、正座をして迎えてくれました。殊の外残暑の厳しい中、汗だくになりながら、熱心に勉強をしてくれました。六時間という限られた枠の中でしたが、大きな声を出して気持良かった、楽しかった、と感想を聞かしてくれました。

卒業公演の成功を祈って、お別れました。他の高校にも、この様な授業がふえると嬉しいと思います。

(土佐恵)



豊澤時若師の巻 —

私の親は芸事が好きで子供の自分から浪曲・漫才・義太夫…色々連れて行かれました。その中で今でいえば歌舞伎に「ハマツタ」のでしょうね。縁があって歌舞伎役者になりました。女役者で鳴らした「中村時子（ときこ）」という方の弟子になりました。「時若（ときやく）」という名前はこのときいただきました。

今は「豊澤」ですけど。役者時代のお話も

いろいろありますが、まあそれは別の機会に申し上げます。

私は役者ながら義太夫が好きで細棹で弾いていたんです。そうしたらある人が「そんなに好きならこれを使いなさい」とおうちから太の稽古三味線を持ってきてくれました。これが火の付き始めです。それから誰やらが駒をくれる、稽古撥をくれる…また座付きの三味線弾きさんが教えてくれる。そのうちツレ弾きに出てみたらどうだと役者のほかに舞台に出るようになりました。

私が竹本入りしたきっかけは豊澤重松さんの口利きです。昭和五十年前後です。「松竹の竹本には若手の三味線弾きがない。だんだん世代交代してくるから入らないか」という勧めです。いろいろ考え、結局行くことになりました。当時竹本研修が始まったばかりで、研修生という話も出かかりましたが、「もう芝居の経験があるのだから実地でやらせたら」と言ってくださって研修生に入らざるツレ弾きからスタートしました。どなたかの弟子ということなしに、毎興行一座する先輩に教わりながらやっています。また人のやっていることを見聞きして憶えました。私が入ったところはいいお手本がたくさんあったのが何よりでした。このごろの竹本の浄瑠璃は変わってきました。以前は三味線でもあまりパンパン叩く人はいませんでした。語り方も昔は鼻唄ではないけれど、歌っていました。今は始めからどこもかしこも一杯に語ってしまった、抜くところがない。悪口ではありません。よ



「堀川」の伝兵衛

い悪いではなく、「変わった」ということを私を感じるまでです。太夫の訛りでも私らが聞くと、うわーっ思います。十三代目仁左衛門さんが心配していましたが…。まあ、くちやくちゃんとは言わないまでも、崩れてきているというんでしょうか…。そういうことを気にしている太夫は二人くらいいませんね。今の竹本には。

昔は座付きの竹本で印象的な人がおおぜいいました。女の太夫さんで竹本大八というおばはん。あるとき岐阜の劇場で「酒屋」を語っているとお客さんが床に向かって、「オイ太夫。もっとしっかりやれや」と岐阜弁で言うんです。「なに言っとるや、お前さん。ここへ来てやってみやー。やれたもんじゃねーで」「ほーか。お前ここへきて聞いてみやー。聞けたもんじゃねーで」と床と客席でけんかしてね。「鮎屋」で浄瑠璃を語っていて「お前みたいな下手な三味線弾き降りやーノわしや語れんわい」「…そうか。ほんならわしや降

りるぞ」「降りゃー」。ほんとうに三味線弾き舞台を降りてしまった。代わりもすぐに間に合いません。それで大八さん、「面目なさに維盛も、ハァーチンチン」って口三味線でね…。それから「えびす太夫」というあだ名のついた太夫もいました。聞かせどころにくると「二世もオー(ニコニコ)三世も…」と嬉しそうに語るんです。三味線弾きで変わったところでは、舞台でどうも三味線の具合が悪い。だいぶ次のきっかけまで間があつたんでしようね。その間に胴をはずして棹のぐあいのためつすがめつ見て、また胴とつないで弾き出したなんていう人の話も聞いています。今までいろいろやってきました…。ちょっとこのところ体調を崩したりしましたが、でもたまに出るとね。しんどいことはやれませんが…。しかし太夫さんによってこちらも違いますね。太夫さんが一生懸命だとそれにつられて自分なりにわりに弾けたなと思うこともあります。やはり太夫三味線の共同作業です。こういうことも腕が上がらなくてもだんだん理屈がわかってきます。昔の年寄りがいろいろ言ったのも無理ないことですね。「芸は一生修行や」とはよくいってあるものです。いくら考えても考え足らん気がします。自分がおおぜいの人の前で高いところ上がってなんぞしなければいけないですから難しいものですねえ…。

修学旅行で義太夫を

昨年7月、奈良県大和高田市の片塩中学校から協会にそんなメールが届きました。同校は東京での2泊3日の修学旅行1日めにグループごとの見学・体験学習を企画。そのひとつとして「日本の伝統芸能の体験」が候補にあり、受講可能なものを調査中に協会のホームページに「1日体験教室」の記事を発見、ぜひ同じような講座を、という依頼を頂戴するにいたしました。協会としても初めての試み。何度かの打合せや交渉を経て迎えた当日10月16日、義太夫教室の会場でもある「空間WN」に一行を乗せたバスが到着しました。

2人の先生に引率された生徒さんは総勢34名。国会議事堂、NHK、読売新聞社、東京ドーム、浅草仲見世通りなどさまざまなコースの中から義太夫を選んだ理由は「楽しそう」「何となく」「音楽に興味があった」「あるいは「じゃんけん」で負けた」など、早朝に出席してからの興奮さめやらぬ態でまずは賑やかに着席。

最初に義太夫の歴史や三味線について説明。普段自分達が好きで聴いている音楽とはあまりに勝手が違うのか幾分戸惑いも感じられましたが、三味線による情景の表し方などには興味津々で耳を傾けてくれ、関係者一同感激。続いて語り「裏門」のお稽古、講師陣による「野崎村」段切の演奏、希望者による三味線のお稽古と肩衣、袴をつけての写真撮影までなかなかの過密スケジュールです。最大の難

関は、やはり「正座」。語りのお稽古は椅子に座ってして頂きましたが三味線の時にはどうしてもこれは避けられず、時間は10数分と短くてもかなりの難行苦行だったようで、代表でお稽古した生徒さん達はしばらくしびれた足を持って余し気味でした。ただ、初めて触れる楽器の印象はとて強烈だったと見え、お稽古はしなかったけれど(時間があれば全員弾いて頂きたかったのですが…)三味線をかまえて写真をとる人続出。撥を握った時の



義太夫ならではの「小指の痛み」もなかなか新鮮だったようです。他にも五行本の字体を見ての驚き、日常では接する機会のない日本古来のものへの関心、じっと座ったまま微動だにせぬ中から多くの事柄を表現していく三味線という楽器のありかたなど、短い時間のうちにもいろいろなことを感じてくれたようです。先生からも、語りを五線譜にしてみると初心者にはとつきやすいのでは、と貴重なアドバイスを頂きました。邦楽が学校教育に導入された現在、少しでも親しみやすい形を考えていく上で私たちにとって今回の講座は大変有意義な場となりました。

今後も恒例の義太夫教室、1日体験教室以外にも義太夫に親しんで頂ける機会を提供していきたいと考えております。お問合せ、ご希望は事務局までどうぞ。

片塩中学校 義太夫アンケート

◎日頃どんな音楽を聞いていますか？

- ヒップホップ系
 - J・POP系
 - アニメソング
 - ロック (GLAY、モンゴル800)
 - フォーク
 - ラップ
 - 映画音楽
 - クラシック
- ◎今日の講習を選んだ理由
- じゃんけんで負けた 18
- 明 5

楽しそうだ 3
 なんとなく 2
 勝手に決まった 1
 気になるから 4
 音楽に興味があったから 1
 ◎「裏門」をお稽古して感じて感じたこと
 恥ずかしかつたけど楽しかった 2
 楽しかった 2
 面白かった 6
 言葉が理解しにくい 2
 そんなに堅苦しい 1
 感じではなかった 1
 見るとすごい、自分でするのは 1
 めっちゃ恥ずかしかつた 1
 恥ずかしかつた 4
 ちょっと不思議な感じだった 2
 変わった音楽だなと思った 1
 とにかく判らない 1
 難しかった 3
 あまり面白くなかつた 1

◎日本の音楽を聴いたことが 23 (ある) 11 (ない)
 ◎歌舞伎・文楽を観たことが 4
 ◎日本の音楽 30
 舞踊を習ったことが 0
 ◎家族で習っている人が 0
 ◎三味線に触ったことが 10
 ◎近松門左衛門について 10 (知っている) 24 (知らない)
 ◎竹本義太夫について 0 34



お役立ち情報 — かせ対策 —

今年もかせの季節がやって参りました。特にこの冬は、インフルエンザが大流行する兆しがあるとか。

皆様は、かせ対策は万全ですか？ この時期OB会等演奏会を控えている賛助会員の方も多いと思います。

そこで、身近なれど厄介な病気である「かせ」について、いろいろ調べてみました。

*かせとは？

一般に、鼻やのどにウイルスが感染して起きる病気を「かせ」と呼んでいます。インフルエンザは、かせの横綱といわれ、これもインフルエンザウイルスの感染が原因です。

*いつ、どんなときに？

①寒い所に長くいる時

冷たい空気を吸い込んで、のどの粘膜の血管が収縮してしまうので、体の空気清浄器である線毛の動きが鈍くなります。その時、吸い込んだウイルスが外へ排出せずに、感染を起こしてしまうのが、原因だそうです。

②食生活の乱れやストレス

栄養が低下した時、又、ストレスも線毛の動きを遅くしてしまうので、ウイルスに感染しやすくなります。

③ウイルスの流行

既にかぜをひいている人からウイルスをもらってしまうケースが、一番多い様です。咳をした時、ウイルスが飛沫になって飛び散り、それを周囲の人が吸い込んで、鼻やのどに感

染してしまいます。ウイルスのついたドアの把手を触った手で鼻をこすっただけでも、感染するそうです。

*かせの症状について

ウイルスに感染すると、発熱・咳などの症状が現れます。これらは、ウイルスや細菌との戦いの証しで、防御反応であるといわれています。のどが赤く腫れるのも、リンパ球が活躍している現われだそうです。

*かせを治すには？

市販のかぜ薬には、ウイルスや細菌を殺す成分が入っていないそうです。しかし、高熱や咳が続くと体力を消耗するので、過剰な炎症反応を抑える効果はありますか。やはり、体の中にあるリンパ球の動きを促すのが一番だそうです。リンパは、水分不足、ストレス、解熱剤を苦手とするので、これらに気をつけてリンパの働きに協力？する事が、かせを治す早道の様です。

*かせ退治のまとめ

かせかなと思ったら水分を多く採り、休暇をとる。初期に休んでおくと、体力の消耗を防ぎ免疫も出来るそうです。解熱剤は、38度をこえる頃に飲むと効果があり、それ以下の時に飲むと、せっかく働きだしたリンパの動きの妨げになるそうです。

リンパを応援する食事として、かせのひき始めには「温」の食材（ニンニク、ショウガ、牛肉、ネギなど）、発熱したら「涼」の食材（大根、トマト、豚肉など）を使った食事が効果的だそうです。ぜひ、お試し下さい。

*番外

かせ対策を聞きました!!

(回答順、敬称略)

・栄養と睡眠。ビタミンCをガバガバ飲む。(越孝)

・一日一回、ビタミンC(錠剤かみかん)を採る。かかったら気力で治す。(越若)

・一年中、首にタオルなどを巻いて寝る。常にうがいをしている。(土佐恵)

・何となくかせをひきそうな前兆の時は、早めに就寝、お茶など水分を多くとる。かかったら、ただただ休養。(土佐子)

・うがい・手洗い程度ですので、何かよい事教えて下さい。(綾之助)

・予防のために、お茶(紅茶も可)の出がらしでうがいをする。マスクを水でぬらし、半しぼりにしたのを半分に折って(鼻は出る様にして)、口にあてて寝ます。かかったら、あたたかい物を飲む。熱が出ない限り、医者には行きません。(待たされてかえって悪くなるので)(幸治)

・バランスのとれた食事、特に体を温める食事とビタミンC。外から帰ったら手洗いうがいの励行。こまめな衣服の調節。かいた汗を冷やさないため、稽古時は必ず着替えます。加湿器の設置(これが一番効果あり)かかったら、すぐに市販の風邪薬を服用。(その時の為に、普段は極力薬類は使用しない)(越京)

協会の動き

02年6月より
02年11月まで

- 6月1日 「ぎだゆう座」公演 2日間 於 上野広小路亭
- 6月2日 真壁町白井座義太夫教室講師 於 真壁町中央公民館
- 6月8日 平成14年度総会 於 築地社会教育会館
- 6月13日 ルネッサながと浄瑠璃三味線教室 於 ルネッサながと
- 6月19日 女流義太夫演奏会「花雲佐倉曙」 於 国立演芸場
- 6月20日 芸団協総会 於 オペラシティ会議室
- 6月23日 真壁町白井座義太夫教室講師 於 真壁町中央公民館
- 6月25日 日本の伝統芸能講座講師 於 学習院生涯学習センター
- 7月1日 東京都事業報告提出 於 上野広小路亭
- 7月1日 「じょぎ」公演 2日間
- 7月6日 真壁町白井座義太夫教室講師 於 真壁町中央公民館
- 7月12日 ルネッサながと浄瑠璃三味線教室 於 ルネッサながと
- 7月14日 講師 於 協会資料室
- 7月17日 普及部会 於 協会資料室
- 7月17日 女流義太夫演奏会「壺坂」他 於 国立演芸場
- 7月18日 大宮町義太夫講習会講師 於 大宮町コミュニティセンター
- 7月25日 義太夫教室第55期初級閉講式 於 空間WN
- 7月27日 一日体験教室 於 空間WN
- 8月1日 真壁町白井座義太夫教室講師 於 真壁町中央公民館
- 8月1日 「ぎだゆう座」公演 2日間 於 上野広小路亭
- 8月2日 ルネッサながと浄瑠璃三味線教室 於 ルネッサながと
- 8月4日 大宮町義太夫講習会講師 於 大宮町コミュニティセンター
- 8月12日 日本芸術文化振興基金実施状況調査 於 協会事務所
- 8月17日 真壁町白井座義太夫教室講師 於 真壁町中央公民館
- 8月21日 大宮町義太夫講習会講師 於 大宮町コミュニティセンター
- 8月22日 女流義太夫演奏会「鎌倉三代記」他 於 国立演芸場
- 8月22日 saraku助成金申請書提出
- 8月23日 日本芸術文化振興基金14年度助成決定
- 8月27日 邦楽会議 邦楽と教育意見交換会 於 サロン・ド・サンク
- 8月30日 saraku事業完了報告書提出
- 9月1日 「じょぎ」公演 2日間 於 上野広小路亭
- 9月4日 足利南高校歌舞伎講座講師 於 足利南高校
- 9月4日 編集部会 於 協会資料室
- 9月6日 経理部会 於 協会資料室
- 9月8日 真壁町白井座義太夫教室講師 於 真壁町中央公民館
- 9月9日 義太夫教室第55期中級開講 於 空間WN
- 9月11日 足利南高校歌舞伎講座講師 於 足利南高校
- 9月11日 経理部会 於 足利南高校
- 9月13日 ルネッサながと浄瑠璃三味線教室 於 ルネッサながと
- 9月15日 講師 於 ルネッサながと
- 9月18日 足利南高校歌舞伎講座講師 於 足利南高校
- 9月18日 経理部会 於 協会資料室
- 9月19日 大宮町義太夫講習会講師 於 大宮町コミュニティセンター
- 9月21日 真壁町白井座義太夫教室講師 於 真壁町中央公民館
- 9月26日 女流義太夫演奏会「伊賀越道中双六」他 於 国立演芸場
- 9月27日 第七回長月会 於 上野広小路亭
- 10月1日 「ぎだゆう座」公演 2日間 於 上野広小路亭
- 10月3日 日本芸術文化振興基金説明会 於 こまばエミナース
- 10月5日 祖先祭 於 回向院
- 10月5日 賛助会員懇親会 於 江戸沢
- 10月10日 ルネッサながと浄瑠璃三味線教室 於 ルネッサながと
- 10月12日 講師 於 ルネッサながと
- 10月12日 備品部会 於 演芸場第2研修室
- 10月13日 真壁町白井座義太夫教室講師

10月17日	於 真壁町中央公民館 大宮町義太夫講習会講師
10月18日	於 大宮町コミュニティセンター Pan運営委員会
10月22日	於 芸団協議会 女流義太夫演奏会「本朝廿四孝」
10月27日	於 国立演芸場 真壁町白井座義太夫教室講師
10月29日	於 真壁町中央公民館 会員団体交流セミナー
10月29日	於 芸団協議会議室 第九回竹本越孝の会
10月30日	於 内幸町ホール 編集会議
11月1日	於 協会資料室 「じよぎ」公演 2日間
11月2日	於 上野広小路亭 真壁町白井座義太夫教室講師
11月10日	於 真壁町中央公民館 法人調査
11月12日	於 協会事務所 sarah 15年度助成金申請書提出
11月13日	於 ルネッサながと ルネッサながと浄瑠璃三味線教室
11月13日	於 ルネッサながと 講師
11月21日	於 大宮町コミュニティセンター 大宮町義太夫講習会講師
11月23日	於 真壁町白井座義太夫教室講師 真壁町中央公民館
11月26日	於 国立演芸場 女流義太夫演奏会「仮名手本忠臣蔵」
11月30日	於 内幸町ホール 第五回巴の会

国立演芸場

女流義太夫演奏会

年 月 日	曜
15年 1月16日	木
2月19日	水
3月19日	水
4月22日	火
5月21日	水
6月24日	火
7月17日	木
8月26日	火
9月18日	木
10月21日	火
11月19日	水
12月22日	月
16年 1月19日	月
2月19日	木
3月22日	月

開場 6時
開演 6時半

月により日程が違います。
ご注意ください。
どうぞよろしく
お願い申し上げます。

これからの予定

*義太夫教室OB演奏会

二月二十二日(土) 東京証券会館ホール

十二時開演(予定)

*東京邦楽演奏会

三月十五日(土) 国立劇場小劇場

*「じよぎ」今年の予定

三十回記念公演

三月一日(土) 二日(日)

以降

五月一日(木) 二日(金)

七月一日(火) 二日(水)

九月一日(月) 二日(火)

十一月一日(土) 二日(日)

いずれも六時半開演

お江戸上野広小路亭

〈寄 付〉

池田 弘一様 祖先祭香料として 一万円

〈寄 贈〉

藤田 晴恵様 カセットテープ二十六本

竹本三味線方一同様 上り糸

〈計 報〉

高橋秀雄 相談役 平成14年9月5日 逝去

竹本住友 正会員 平成14年9月24日 逝去

〔編集後記〕

○昨年は戦後最大級の台風の被害にあい、大変でした。保険に入りましょう。(T)

○今年は世界に平和がもたらされますように。(K)

○昨年は四月で野球シーズンが終わり、時間が有効に使えました。(S)

○風邪にご注意……。(K2)